

1. 施策の目的等

施策名	1	消防活動体制の強化			
基本計画	章	消防力の強化			
主担当部課名	警防部 警防課	所沢中央消防署 消防管理課(中)	所沢東消防署 消防管理課(東)	狭山消防署 消防管理課(狭)	入間消防署 消防管理課(入)
	飯能日高消防署 消防管理課(飯)				
施策の目的	複雑多様化・大規模化する災害に迅速・的確に対応できる消防力を整備し、住民の安心・安全な暮らしを支える消防活動体制を確立することを目的とする。				
施策を取り巻く現状や市民ニーズ等	近年の災害形態は複雑多様化し、大規模地震やテロ災害等の発生など、消防を取り巻く環境は大きく変化している。こうした状況の下、消防の広域化によるスケールメリットを活かし、現場活動人員や出動車両を増強し、初動体制の強化と市境における現場到着時間の短縮など、消防活動体制の強化を図っている。また、消防車両等は整備計画に基づき老朽化の著しい車両を優先して更新し、消防力の維持に努めている。				

2. 事業費・人件費等の推移

		単位	平成27年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)	平成29年度 (決算額)	平成30年度 (決算額)	平成31年度 (決算額)
投入量	事業費(A)	千円	492,567	391,725	313,720	306,253	0
	正規職員従事人数	人	23	21	20	17	0
	延べ業務時間	時間	25,464	26,743	27,703	23,269	0
	正規職員人件費計(B)	千円	110,743	120,718	132,420	110,923	0
	再任用職員従事人数	人	6	6	1	8	0
	延べ業務時間	時間	1,147	1,695	227	1,452	0
	再任用職員人件費計(C)	千円	3,028	4,097	479	3,158	0
	臨時職員従事人数	人	1	5	6	5	0
	延べ業務時間	時間	102	1,068	1,530	1,422	0
	臨時職員人件費計(D)	千円	91	951	1,392	1,294	0
人件費計(E)=(B)+(C)+(D)	千円	113,862	125,766	134,291	115,375	0	
トータルコスト(A)+(E)	千円	606,429	517,491	448,011	421,628	0	

3. 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移					目標値	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
車両整備計画(平成27年度～平成36年度)の進捗率	64.0	実績	4.0	13.0	20.0	25.0	0.0	64.0
	台	達成率	6.3	20.3	31.3	39.1	0.0	
	0.0	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	0.0	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	0.0	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	0.0	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	0.0	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

指標の分析

総合計画実施計画に掲げる平成30年度の目標値を達成している。

4. 施策の評価

これまでの主な取組と成果

- ①車両更新整備事業では、救助工作車1台(狭山消防署)、指揮車2台(所沢中央消防署、所沢東消防署)、積載車1台(吾野分署)、連絡車1台(入間消防署)の合計5台を整備した。
- ②消防機械器具整備事業では、防火衣更新計画に基づき防火衣40着を更新し、消防隊員用個人防火装備に係るガイドラインの見直しに伴い、一部仕様の変更を行った。
- ③消防水利整備事業では、消防水利を設置及び修繕し、適正な維持管理に取り組み計画どおりに実施した。
- ④消防活動事業では、各種研修へ7回28人の職員を派遣、各種訓練(九都県市合同防災訓練、入間基地ピットファイアー訓練等)へ4回63人の職員を派遣した。また、災害時に迅速・的確に対応できるよう消防資機材を計画的に更新し維持管理した。

今後の課題

- ①車両更新整備事業では、車両更新に伴う、財政負担の軽減を考慮しなければならない。また、車両整備計画に基づき、現有車両のより効率的な車両配置が必要である。
- ②消防機械器具整備事業では、退職者から返納された防火衣を効果的に再利用するため、運用管理方法を定める。
- ③消防水利整備事業では、水道管の敷設替えに伴って既存の消火栓が撤去され、当該地域に新たな消火栓が設置されることとなるが、消火栓の設置には多額の経費を必要とするため、消火栓の適正配置について、当該地域ごとに十分に検討する必要がある。
- ④消防活動事業では、災害現場経験の豊富な職員が退職することにより、若年層職員の育成が急務である。また、老朽化している高額な消防資機材の維持管理については、多額の経費を要する。

今後の展開

- ①車両更新整備事業では、現有車両の適正配備について精査する。
- ②消防機械器具整備事業では、埼玉西部消防組合消防隊員用防火衣更新整備計画を継続的に見直す。
- ③消防水利整備事業では、消防水利の設置及び防災上の配慮に関する基準に基づき、開発行為に係る防火水槽等の設置について指導する。また、消火栓の設置に当たっては、構成市の財政、上水道担当部署と調整を図りつつ、消火栓の適正配置に取り組んでいく。
- ④消防活動事業では、PDCAサイクルを活用した一体的な消防活動力向上のためのシステムを構築する。また、各消防署にはほぼ同様の資機材が配備されているが、特殊資機材については消防局全体で配備計画の見直しをする。

5. 構成事務事業の評価

事務事業名	主要施策名	事業種別	平成30年度	事務事業 評価/ 総合評価	有効 度	優先 度		
			決算額(千円)					
1	車両更新整備事業(消防局)	311 消防車両等の整備	行政管理(財産等管理/要綱等)	126,013	A	B	A	
2	消防機械器具整備事業(消防局)	311 消防車両等の整備	行政管理(財産等管理/要綱等)	13,348	B	1	B	A
3	消防水利整備事業(所沢中央消防署)	312 消防水利の整備	施設管理(施設の維持管理/法律等)	44,139	B	1	B	A
4	消防水利整備事業(所沢東消防署)	312 消防水利の整備	施設管理(施設の維持管理/法律等)	11,284	B	1	B	A
5	消防水利整備事業(狭山消防署)	312 消防水利の整備	施設管理(施設の維持管理/法律等)	11,234	B	1	B	A
6	消防水利整備事業(入間消防署)	312 消防水利の整備	施設管理(施設の維持管理/法律等)	33,847	B	1	B	A
7	消防水利整備事業(飯能日高消防署)	312 消防水利の整備	施設管理(施設の維持管理/法律等)	31,677	B	3	B	A
8	消防活動事業(消防局)	313 災害対応力の向上	教育(教育/要綱等)	3,695	A		B	A
9	消防活動事業(所沢中央消防署)	313 災害対応力の向上	行政管理(財産等管理/要綱等)	5,959	B	1	B	A
10	消防活動事業(所沢東消防署)	313 災害対応力の向上	行政管理(財産等管理/要綱等)	5,376	B	1	B	A
11	消防活動事業(狭山消防署)	313 災害対応力の向上	行政管理(財産等管理/要綱等)	5,434	B	1	B	A
12	消防活動事業(入間消防署)	313 災害対応力の向上	行政管理(財産等管理/要綱等)	5,704	B	1	B	A
13	消防活動事業(飯能日高消防署)	313 災害対応力の向上	行政管理(財産等管理/要綱等)	8,543	B	1	B	A
14				0				
15				0				
16				0				
17				0				
18				0				
19				0				
20				0				
小 計				306,253				
合 計				306,253				

構成事務事業の 適当性	消防活動体制の強化に向けた消防車両等の整備、消防水利の整備及び災害対応力の向上を具現化するための各事務事業の取り組みは、着実にその成果が表れており構成事務事業の適応性は高いものと評価する。
----------------	--